

和歌山製油所エリアの今後の在り方に関する検討会
中間とりまとめ「和歌山製油所エリアの今後の方向性について」
公表にあたって

本日、和歌山製油所エリアの今後の在り方に関する検討会（経済産業省（資源エネルギー庁・近畿経済産業局）、和歌山県、海南市、有田市、ENEOS 株式会社）として、中間とりまとめとなる「和歌山製油所エリアの今後の方向性について」を公表いたしました。

昨年1月に ENEOS 和歌山製油所の製油所機能停止が発表されてから、短い期間で議論を重ね、中間とりまとめを公表するまでに至りましたこと、ご協力いただいた関係各位には改めて感謝申し上げます。

本年10月の製油所機能停止を前に、和歌山製油所エリアが「未来環境供給基地」になるというグランドデザインのもと、エリアのゾーニングや雇用規模の見通し、今後の方向性が示されたことは、地域にとって明るい光になると認識しています。

今後は、グランドデザインの実現に向け、有田市としても全力を尽くして取り組んでまいります。

令和5年9月5日
有田市長 望月 良男